様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	日本大学医学部附属看護専門学校
設置者名	学校法人日本大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程	看護学科(3 年制)	夜 ・ 通信	63 単位	3×3＝9 単位	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

看護専門学校ホームページにて公表 （掲載：http://www.med.nihon-u.ac.jp/nunc/curriculum#crm05）

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	日本大学医学部附属看護専門学校
設置者名	学校法人日本大学

１．理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページにて公表 （掲載：http://www.nihon-u.ac.jp/about_nu/board/director/）

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2020.9.10 ～2023.9.9	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	国会議員	2020.9.10 ～2023.9.9	組織運営体制へのチェック機能
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本大学医学部附属看護専門学校
設置者名	学校法人日本大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 前年度中に主事を中心として次年度の学事日程を策定し，教員会において承認を得た後，これに基づき，専任教員及び授業担当教員等において学習要項（シラバス）を作成する。学習要項（シラバス）には，授業科目ごとに担当教員名，学習目的，到達目標，ディプロマ・ポリシーとの関連，準備学習，成績評価基準，授業内容及び教科書・参考書等を記載している。学事日程は，紙媒体で発行しているが，シラバス，カリキュラム・ポリシー，カリキュラム，履修系統図，履修条件等については看護専門学校ホームページで掲載しており，広く社会に公表している。

授業計画書の公表方法	掲載： http://www.med.nihon-u.ac.jp/nunc/curriculum#crm05

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） ディプロマ・ポリシー（専門士授与・卒業の認定に関する方針）に掲げる能力を備えた看護の実践者を育成するため，３年間を通じて，基礎分野，専門基礎分野，専門分野Ⅰ，専門分野Ⅱ，統合分野で構成される体系的なカリキュラムを編成し実施する。 また，各科目における学習目的・到達目標・授業内容・成績評価方法・評価内容を学習要項（シラバス）等で明示し，学生に周知した上で，公正かつ厳正に評価する。このカリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）に基づき「看護専門学校試験・成績評価及び既修得単位の認定に関する内規」及び「履修条件」を定めて学生の学修成果を測定し，厳格な成績評価を行っている。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

成績評価基準は，学習要項（シラバス）に授業科目ごとに明示されている。

看護学は知識と経験を積み重ねていく学問であるので，基礎学力の強化を図り，基礎分野で人体の構造や機能及び人間の心の概念や成長・発達を学んだ上で，看護実践を行うのに必要な知識・技術を学ぶ流れに沿ったカリキュラム編成が必要である。

また，看護学教育モデル・コア・カリキュラムや看護師国家試験出題基準の改訂に合わせた即時的な対応が求められる。このため，本校の特性に合わせて「看護専門学校試験・成績評価及び既修得単位の認定に関する内規」及び「履修条件」を定め，これに基づいて学生の学修成果を測定し，厳格な成績評価を行っている。本内規は学生便覧に明示しており，紙媒体で発行している。

カリキュラム・ポリシー，カリキュラム，履修系統図，履修条件等については紙媒体の他に看護専門学校ホームページで掲載しており，広く社会に公表している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	掲載：http://www.med.nihon-u.ac.jp/nunc/curriculum

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

日本大学教育憲章に基づき，日本大学マインド，すなわち日本文化を理解し，国民の福祉・健康に寄与し，多様な文化を受容し，地域社会及び国際社会に貢献できる看護師を輩出するため，日本大学の教育理念「自主創造」を構成する３つのカテゴリーである「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道を開く」姿勢を育み，本校の理念に基づき看護を実践する能力を身につけ，所定の単位を修得した学生に卒業を認定し，専門士（医療専門課程）の称号を授与する。本校はこのディプロマ・ポリシー（専門士授与・卒業の認定に関する方針）を定め，他の基本方針のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針），ディプロマ・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針））と共に学習要項（シラバス），学生便覧及び看護専門学校ホームページで掲載しており，広く社会に公表している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	掲載：http://www.med.nihon-u.ac.jp/nunc/about#abt05

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	日本大学医学部附属看護専門学校
設置者名	学校法人日本大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nihon-u.ac.jp/disclosur/financial/report/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療関係	看護専門課程	看護学科（3 年制）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	１０２ 単位時間／単位	69 単位	9 単位	24 単位	 単位	1 単位
			１０３単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
２４０人	２５０人	０人	１６人	１３９人	１５５人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4.を参照
学修支援等
（概要） 学生は，看護師となるために必要な知識の習得だけでなく，チームワーク，指導力，洞察力，倫理的観念等を高い水準で要求される。そういったプレッシャーのかかる日常を送っている中で受けるストレスは計り知れない。そのストレスを緩和するために，担任制（１学年３名）を敷き，学業及び生活両面について，きめ細かなサポートを行っている。また，専任教員は，事前学内実習において確実な技術習得に向けて小グループ制で看護技術支援に当たっていることに加え，附属板橋病院及び日本大学病院での臨地実習においては臨床指導者と綿密な連携のもと，充実した実習環境を整えている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
８２人 （100%）	１人 （　1.2%）	８０人 （　97.6%）	１人 （　1.2%）
（主な就職、業界等） 日本大学の病院（72.0%），学外医療機関（25.6%）			
（就職指導内容） 病院でのインターシップの参加を促すとともに，業者による小論文添削講座，エントリーシートの書き方・面接の受け方講座等を開催し，専任教員がフォローアップを行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師国家試験の受験資格，助産師学校・保健師学校への受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
２５６人	３人	１．２%
（中途退学の主な理由） 進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任制による個々の学修支援・相談及び学生生活相談に加え，専門のカウンセラーの協力も得ながら，学生個々に丁寧に向き合い，学生支援をしている。 また，保護者説明会を開催し，情報共有を図り，学校と家庭の両方向から学生への支援ができるようにしている。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
看護学科	60,000 円	480,000 円	60,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
看護専門学校ホームページにて公表
http://www.med.nihon-u.ac.jp/nunc/about

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）

以下の①～③に該当する者の中から合計３～５名を任期１年として構成する。
①卒業生
②保護者・地域住民
③学校の専門分野における関係団体・関係業界
（就職先企業，施設等の実習先，分野別の業界団体等）

【評価項目】
基準Ⅰ　教育課程・学習成果
① 学生の学習を活性化し，効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか
② 教育課程及びその内容，方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また，その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。
基準Ⅱ　学生の受け入れ
① 学生の受け入れ方針に基づき，学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し，入学者選抜を公正に実施しているか。
② 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。
また，その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。
基準Ⅲ　教員・教員組織
① ファカルティ・ディベロップメント（ＦＤ）活動を組織的かつ多面的に実施し，教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。
② 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。
また，その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。
○進路指導における重点目標

【評価結果の活用方法】
評価結果を各学校ホームページにて公表し，広く社会に情報提供するとともに，今後の専門学校の運営改善に資するために，指摘事項に対する改善方策を次年度初頭までに策定し，専門学校長の指示のもと実施していく。
また，改善方策の達成状況の点検を含めた自己点検・評価を実施し，その結果については，学校関係者評価による客観的視点において点検・評価を受けることにより，ＰＤＣＡサイクルを機能させる。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
専業主婦	2020.4.1～ 2021.3.31	地域住民
病院関係勤務	2020.4.1～ 2021.3.31	保護者
大学職員	2020.4.1～ 2021.3.31	専門分野関係業界
大学職員	2020.4.1～ 2021.3.31	専門分野関係業界
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 前年度評価について，看護専門学校ホームページにて公表 http://www.med.nihon-u.ac.jp/nunc/about		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.med.nihon-u.ac.jp/nunc/

（別紙）

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が 1 人以上 10 人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が 0 人の場合には、「0 人」と記載すること。

学校名	日本大学医学部附属看護専門学校
設置者名	学校法人日本大学

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		２４人	２３人	２５人
内訳	第Ⅰ区分	１４人	１３人	
	第Ⅱ区分	－ 人	－ 人	
	第Ⅲ区分	－ 人	－ 人	
家計急変による支援対象者（年間）				－ 人
合計（年間）				２７人
（備考）				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	０人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	０人		
修得単位数が標準単位数の５割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	０人		
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	０人		
「警告」の区分に連続して該当	０人		
計	０人		
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	０人	前半期		後半期	

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	０人
３月以上の停学	０人
年間計	０人

（備考）

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	０人
訓告	０人
年間計	０人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	０人		
ＧＰＡ等が下位４分の１	－人		
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	０人		
計	－人		

（備考）

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは，日本産業規格Ａ４とする。